

第 3 回有識者検討会（R4. 12. 26）における主な意見と対応状況

物流に係る意見

	主な意見	対応状況
1	物流に関して、地方に住んでいると、物が届くということが生活基盤として大変重要で、物流も社会資本の一つだと思う。原案では物流について記載されているが、単に輸送手段の確保だけでなく、物流ターミナルなどの拠点や、海上と陸上の接点などしっかり繋がっていないと物が運べないのでその辺りをもう少し書いても良いのではないか。	物流について追加修正しました。（案 14 ページ）
2	物流について、単に輸送手段の確保というより、もっと大事な部分は、物流という切り口で地域の経済の活性化にうまくつながるような仕組みを社会資本整備という視点からも、今後しっかり対応していくというメッセージではないか。縦割りの中で総合的に進めていくことは大変難しいと承知した上で、メッセージとして出していくような工夫をしていければ良い。	

多目的・多機能に係る意見

	主な意見	対応状況
3	多目的・多機能化について、例えば一つの空間に集約された多目的・多機能もあれば、時間的に見て平常時と非常時に使い分けるものもある。そういった時間軸や空間的、利用者などを含めて事例を整理できると良い。最終的には、今後の参考として市町村に提示できれば良いのではないか。	今後、事例を整理、収集し市町村に情報提供できるよう検討していきます。
4	多目的・多機能については、今回の事例でもきっかけになると思うので、市町村に参考として共有できれば良いのではないか。東日本大震災の時に高規格道路等の盛り土が津波の堤防になったことは新たな発見であったが、そういった事例が他にもあると思うので、今後、事例を整理できれば良い。	
5	多機能化について、個別の社会資本が色々な機能を多く有するという事は、結果的に効率的な整備、長期的に限られた財源で有効な整備につながっていくという意味で、重点化方針の優先度につながっていく大事な機能なのではないか。将来に向けて、機能の多さや内容など、要因を科学的に分析、検討していければ良いのではないか。	今後、多機能の内容、要因を検討していきます。
6	今回、多目的・多機能の事例を集めたことは、第一歩だと思う。事例を類型化して整理して行ければ、今後の社会資本整備の優先度を考えるにあたって、地域からの要望の多さ等でなく、より多くの機能を持っている施設を優先していくといった考え方、方向性につながっていくのではないか。そういう議論をこの機会にしておくことが大切で、このような議論をしたことをどこかに残しておくべき。	巻末の主な議論に掲載します。（案 52 ページ）

その他意見

	主な意見	対応状況
7	ここ数日、また大雪が発生している。冬もこれまでにない災害が発生しているので、原案の気象災害のところに大雪等を書ければ良いのではないかと。最近では本州、四国等でも雪が降って大きな影響が出ているので、北海道の経験やノウハウを何らかの形で道外に活かしていければ良いと思う。	大雪等について追加修正しました。(案 15 ページ)
8	将来、データが全ての基盤になって、データ自体が一番重要な社会資本になって来る。そうなれば生活基盤とか交通基盤などの分類もなくなる。そういった新しい社会資本が将来出てきた時に、対象とする社会資本の定義を少しずつ変えて、再定義していく必要があるのではないかと。	今後、検討していきます。

など